

決算

問 財政課 ☎内線1221

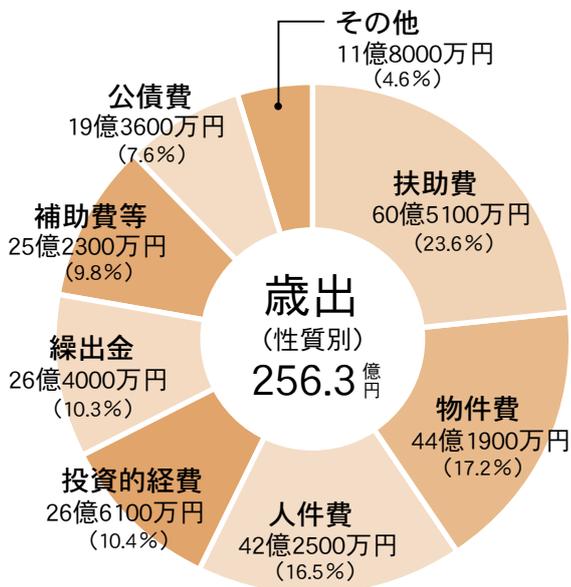
一般会計歳出合計は256億3,500万円

- ・平成28年度決算がまとまり、9月に開かれた第3回定例会において認定されました。
- ・一般会計では、前年度比で歳入は2.3%減、歳出は0.8%減となりました。

一般会計

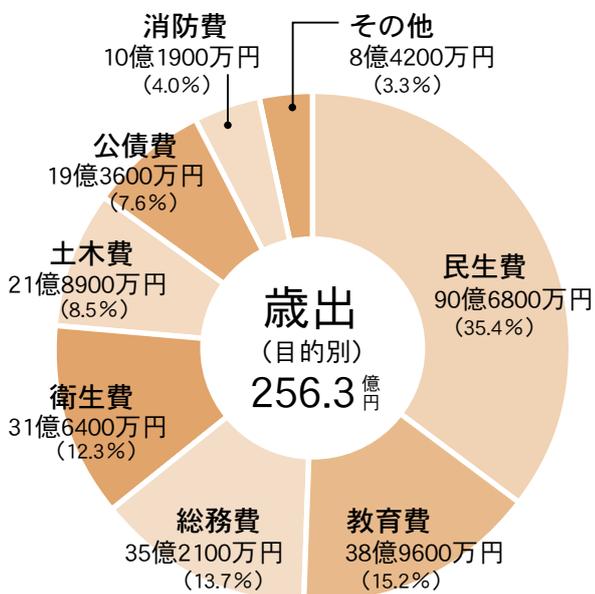
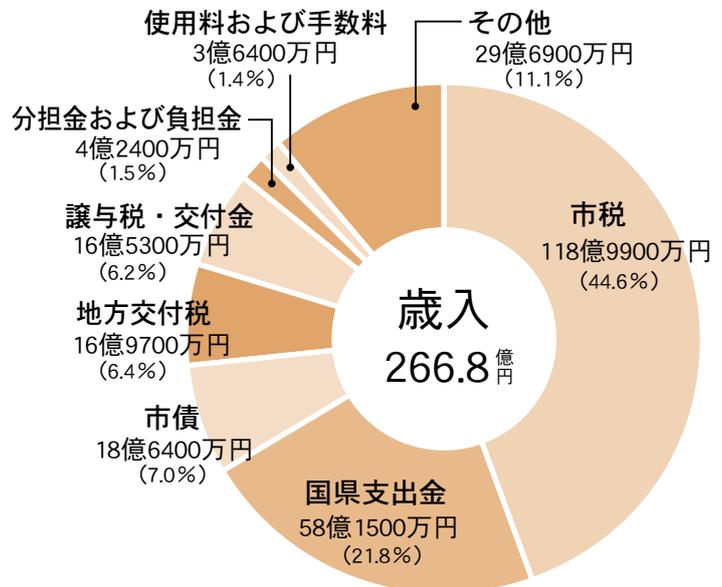
歳出 256億3,500万円

前年度に比べ1億9,900万円、0.8%減少しました。



歳入 266億8,500万円

前年度に比べ6億3,800万円、2.3%減少しました。



特別会計

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業	96億4,600万円	96億3,000万円
公共下水道事業	27億8,800万円	26億6,200万円
青果市場事業	160万円	160万円
小規模水道事業	0	0
介護保険事業	49億3,500万円	46億5,600万円
工業用地造成事業	0	0
後期高齢者医療事業	14億1,200万円	14億1,200万円

市民一人当たりの歳出内訳(一般会計)

市民一人当たりが負担したお金(市税)

139,904円

※市税総額÷住基人口(H29.3.31時点)

市民一人当たりに使われたお金

301,395円

※歳出総額÷住基人口

※差額の161,491円は、国・県からの補助金、交付金などでまかっています。



その他(農林水産業費・議会費など)9,901円

※公債費とは…市債(市の借金)の元金と利子の返済の経費

健全化判断比率・資金不足比率

平成28年度決算を基に、『財政健全化法』の規定による財政の健全化度を算定しました。本市ではいずれの指標とも国の基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

健全化
判断比率



■実質赤字比率

普通会計(一般会計と小規模水道事業特別会計)を対象とした実質赤字の財政規模に対する割合。

■連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字の財政規模に対する割合。

■実質公債費比率

普通会計が負担する借入の償還金の財政規模に対する割合。

■将来負担比率

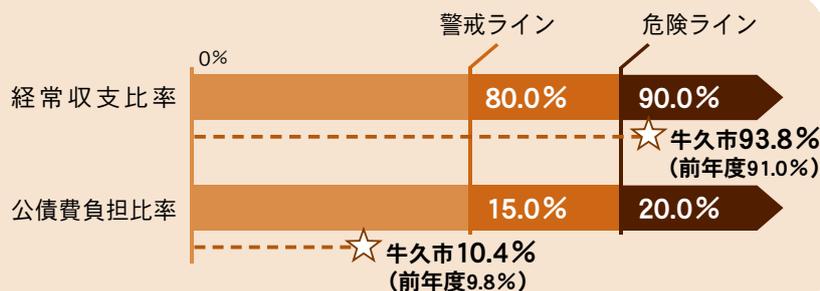
借入金や、下水道事業、一部事務組合等に対し、将来負担すべき実質的な負債の財政規模に対する割合。

■資金不足比率

下水道など、公営企業の資金不足額の、料金収入の規模に対する割合。

決算統計による財政比率

平成28年度決算について、全国の自治体が統一のルールに基づいてまとめ、財政の硬直化等の指標値を算定しました。本市では経常収支比率が増加し、財政の硬直化が進んでいるという結果が出ました。



■経常収支比率

人件費や扶助費などの経常的経費に、市税などの経常的一般財源が充てられた割合。

■公債費負担比率

公債費に充てられた一般財源の、一般財源総額に占める割合。

平成28年度に取り組んだ主な事業

行政区集会所施設の整備や管理に対する助成をする

1,800万円

地域コミュニティ活動の拠点となる集会所施設の整備・管理にかかる経費を助成し、円滑なコミュニティ活動の推進と充実に努めます。平成28年度は牛久駅西ニュータウン行政区集会所の新築等を行っています。



まち・ひと・しごと創生事業を展開する

4,000万円

地域活性化の取組として、国の補助金を活用し、「ピザフェス」の開催、牛久シャトーでのプロジェクトマップの開催や、観光PR動画を制作しました。今後も地域の活性化に繋がる取組を積極的に行います。



防犯灯の新設・管理および防犯カメラ設置

3,600万円

行政区や市内小中学校と連携し、設置要望箇所や通学路を中心に、防犯灯を設置・管理するとともに、市内主要交差点への防犯カメラの設置を行い、地域防犯力の強化を進めています。

予防接種の実施

2億1,000万円

子育て支援、並びに住民の健康増進を図るため、様々な予防接種の助成を行っています。平成28年度は新たにB型肝炎予防接種の助成を実施しています。

医療福祉費支給制度により医療費を助成する

5億4,000万円

子育て世代の医療費の負担軽減を図り、子育て環境の更なる充実を図るため、平成28年10月より対象者を高校生相当年齢まで拡大し、市独自の助成に取り組んでいます。

民間保育園の運営を支援する

15億8,000万円

子育ての負担軽減、児童の健全な成長を支えるため、民間保育園に対する運営支援を行っています。平成28年度は新たに、乳児保育に対する補助、および保育補助者の雇用に対する補助等を実施しています。



道路維持費

1億8,000万円

道路、排水路、橋梁等のインフラ施設の補修、および計画的な修繕を進めています。

道路新設改良費

3億3,000万円

市道23号線整備、通学路の安全確保(市道52号線(下根町地内)、市道8号線(柏田町地内)等)、狭あい道路の拡幅(市道1731号線(女化町地内)等)など計画的な道路整備を進めています。



児童クラブの運営

2億4,000万円

児童の学びや生活を支援し、健全育成を支えます。平成28年度は中根小学校児童クラブの施設不足が見込まれることから、児童クラブ棟の建設を行いました。



ひたち野地区中学校建設

4億9,000万円

平成32年4月開校を目指し、新中学校の建設事業に取り組んでいます。平成28年度は用地の取得を行いました。



中学校施設整備

2億6,000万円

生徒の学校環境の充実を図るため、計画的な学校施設整備を行っています。平成28年度は、下根中学校の仮設校舎の建設を行うとともに、牛久第一中学校体育館の改築、牛久南中学校の大規模改造等に取り組んでいます。

